

取扱説明書

X-180S

セバレート・2ウェイ・スピーカーシステム	68-33122Z62-A BDS-18A01A
アルパイン株式会社 Designed by ALPINE Japan	Printed in China (Y-736_A2)

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっていきます。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。	注意 (警告を含む)しなければならぬ内容を示しています。
禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。	

警告

- 説明書に従って、取り付け・配線をする** 作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する** 誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する 取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする 感電・ケガの原因になります。

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない 事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない 事故・火災の原因になります。

故障や異常な状態のまま使用しない 音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(またはサービス相談窓口)に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

分解・改造をしない 特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。

注意


コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する 断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する 付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない 火災・故障の原因になります。

車以外には使わない 感電・ケガの原因になります。

大きな音量で使用しない 車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。

<p>充実したサポートとサービスのためには是非お客様登録をお願いします。</p> <p>アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。</p> <p>パソコンからのご登録 http://WWW.alpine.co.jpへアクセスいただき、ご登録をお願いします。</p> <p>スマートフォンからのご登録 http://WWW.alpine.co.jp/mobileへアクセスいただき、ご登録をお願いします。 ※一部対応していない機種がございます。</p>	
--	---

保証書／アフターサービスについて

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき………まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき…お買い上げ店、またはインフォメーションセンターにご相談ください。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店または下記の「インフォメーションセンター」にお問い合わせください。

<p>お問い合わせはインフォメーションセンターへ</p> <p><電話でのお問い合わせ> TEL: 0570 - 006636</p> <p>※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。 (携帯電話・PHS: 20秒 10円)</p> <p>※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。 03-6704-4926</p> <p><メールでのお問い合わせ> ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。</p>	<p><FAXでのお問い合わせ> FAX: 048 - 662 - 6676</p>	<p></p> <ul style="list-style-type: none">電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く) 月～金: 9:30～17:30 土曜日: 9:30～12:00 13:00～17:00 <p>・アルパインホームページ http://www.alpine.co.jp</p> <p>アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。</p>
---	--	--

はじめに

ハイレゾ音源を正しく再生するには、オーディオシステム全てをハイレゾ対応機器にする必要があります。ここからの説明は、**専門技術と経験のある方を対象にしています。**

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 取り付け作業を行う時は、取り付けるスピーカーのフレーム内部に、作業時に発生するクズやゴミが入らないようにご注意ください。故障や異常などの原因になる場合があります。
- ドアや後席側面は雨水が回りこむ場合がありますので、必ず付属のクッションを本説明書にしたがって取り付けてください。また、車種により防水対策が必要な場合があります。お車に合わせ万全な防水対策を行ってください。

1. 準備する

- 車を安全で平坦な場所に停める。パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

- 構成部品を確認する。構成部品一覧を確認してください。

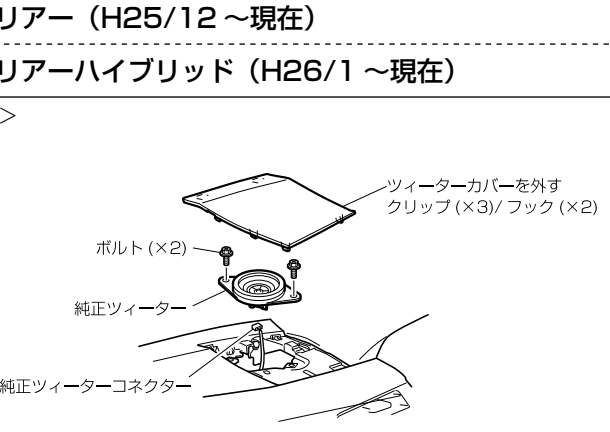
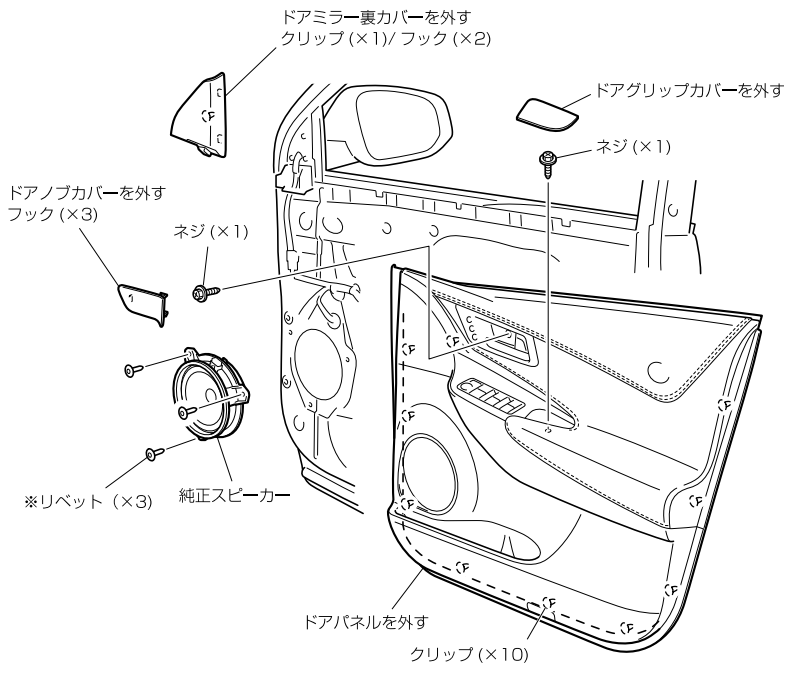
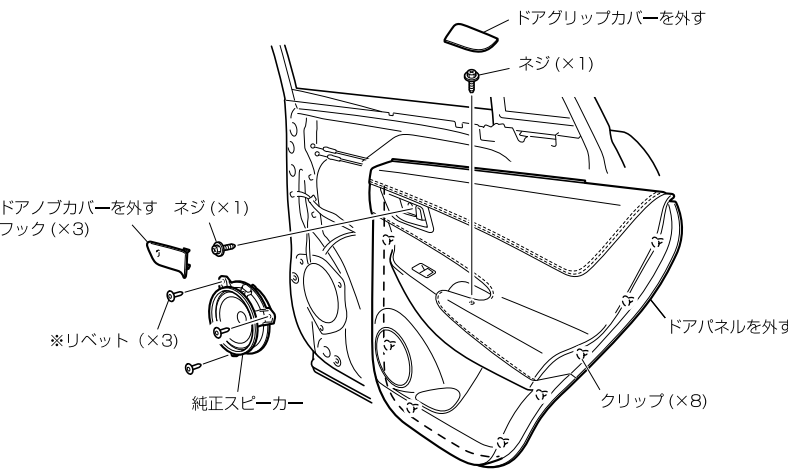
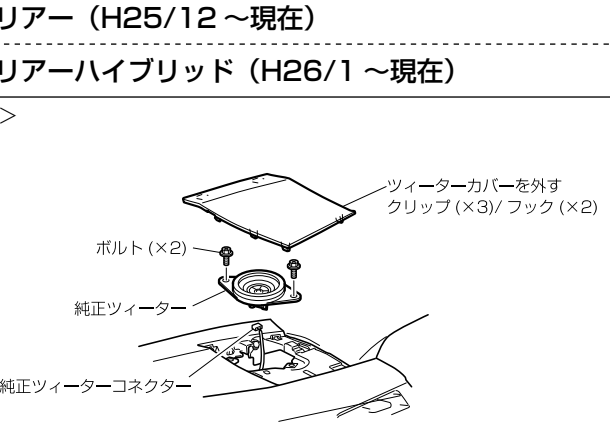
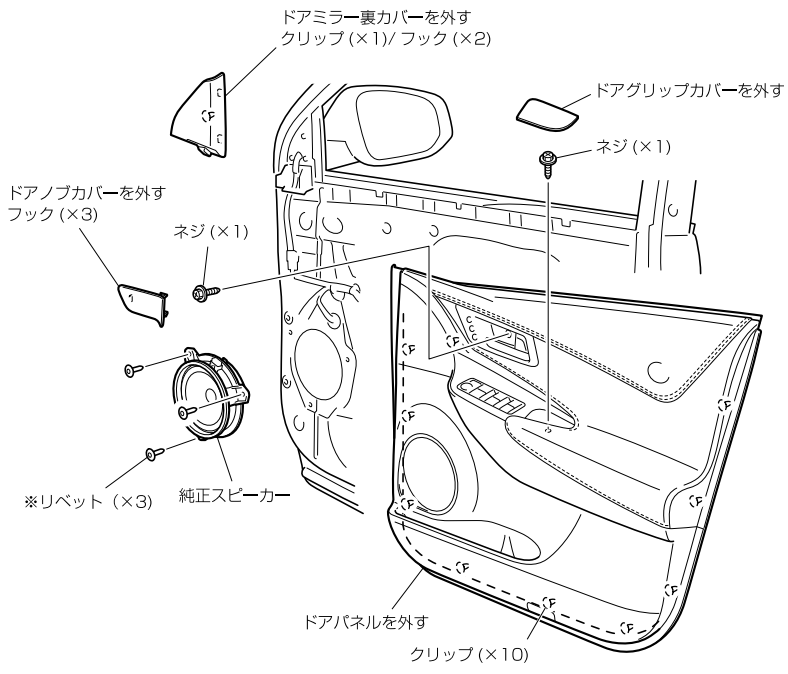
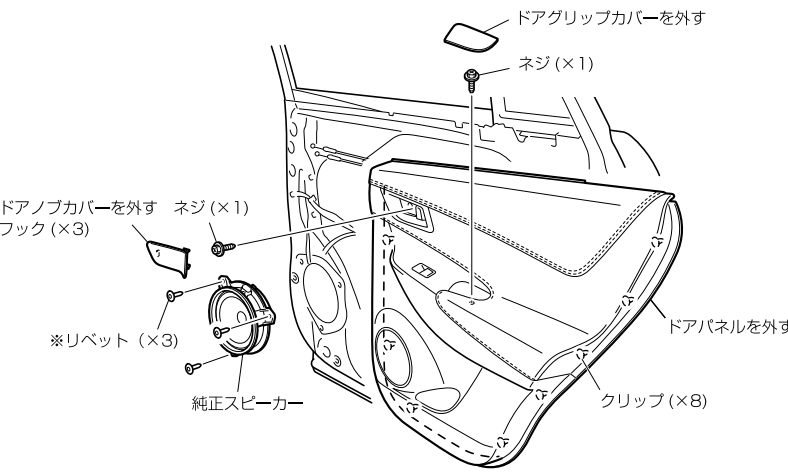
構成部品一覧					
①	スピーカー本体(ウーファー)	 ×2	②	クッション(600×8×t=6mm)(スピーカー用)	 ×2
③	クッション(750×8×t=6mm)(パッフルボード用)	 ×2	④	ネジ(φ4×16mm)	 ×8
⑤	ワッシャー(φ4用)	 ×8	⑥	ジョイントキャップ	 ×4
⑦	変換コード(250mm)(トヨタ用)	 ×2	⑧	変換コード(240mm)	 ×2
⑨	ネットワーク	 ×2	⑩	ウーファーネットワークコード(550mm)	 ×2
⑪	分岐コード(グレーライン)(200mm)(ネットワーク・マイナス配線用)	 ×2	⑫	分岐コード(200mm)(ネットワーク・プラス配線用)	 ×2
⑬	防振クッション(59×25×t=1.2mm)(両面テープ付)(ネットワーク用)	 ×2	⑭	保護用クッション(80×40×t=3mm)(片面テープ付)	 ×4
⑮	コードクランプ(ネットワーク用)	 ×8	⑯	ツイーター	 ×2
⑰	防振クッション(両面テープ付)	 ×2	⑱	ブラケット	 ×2
⑲	スラントスパーサー	 ×2	⑳	平型スピードナット	 ×4
㉑	ネジ(φ4×16mm)	 ×4			

2. 取り付ける

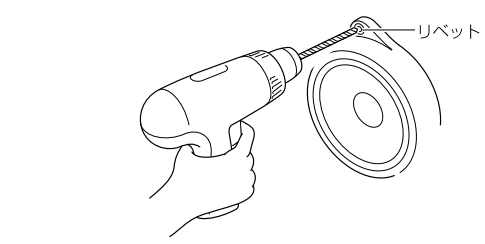
本説明書の取り付け情報は、平成28年5月現在の調査に基づく内容です。

1 スピーカー取り付け

- ドアパネルと純正スピーカーを取り外す。

<p>トヨタ</p> <p>ハリアー (H25/12～現在)</p> <p>ハリアーハイブリッド (H26/1～現在)</p> <p><ダッシュボード></p>  <p><フロントドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p> <p><リアドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p>	<p>トヨタ</p> <p>ハリアー (H25/12～現在)</p> <p>ハリアーハイブリッド (H26/1～現在)</p> <p><ダッシュボード></p>  <p><フロントドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p> <p><リアドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p>
--	--

- トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法**
電気ドリル等を使用してリベットを取り外してください。(φ4mm～φ4.5mmを使用してください。)

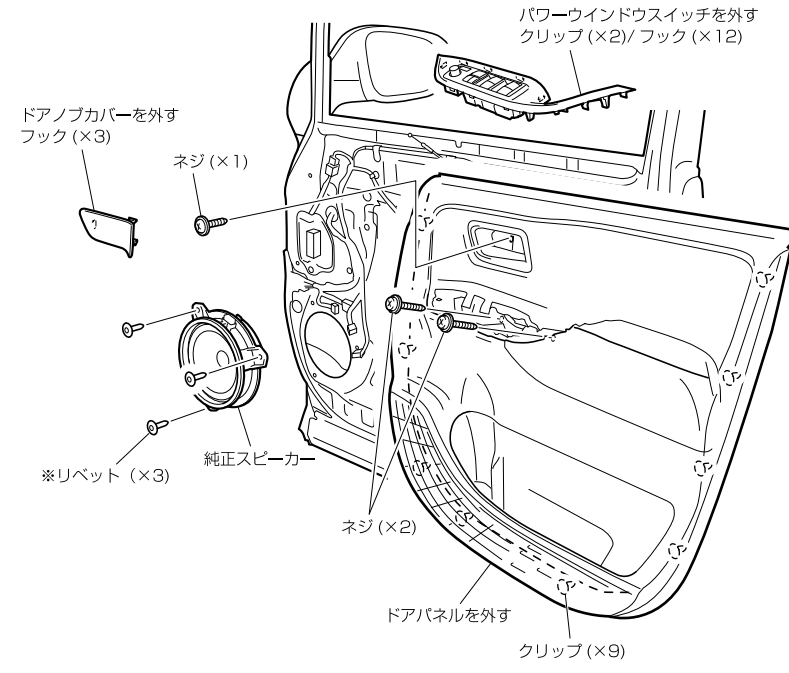
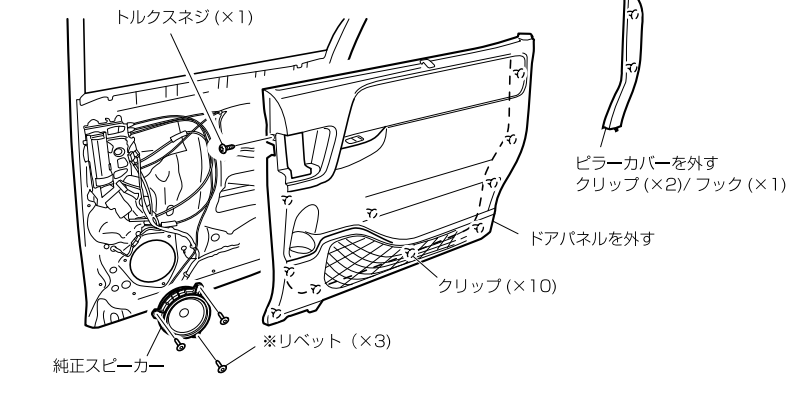
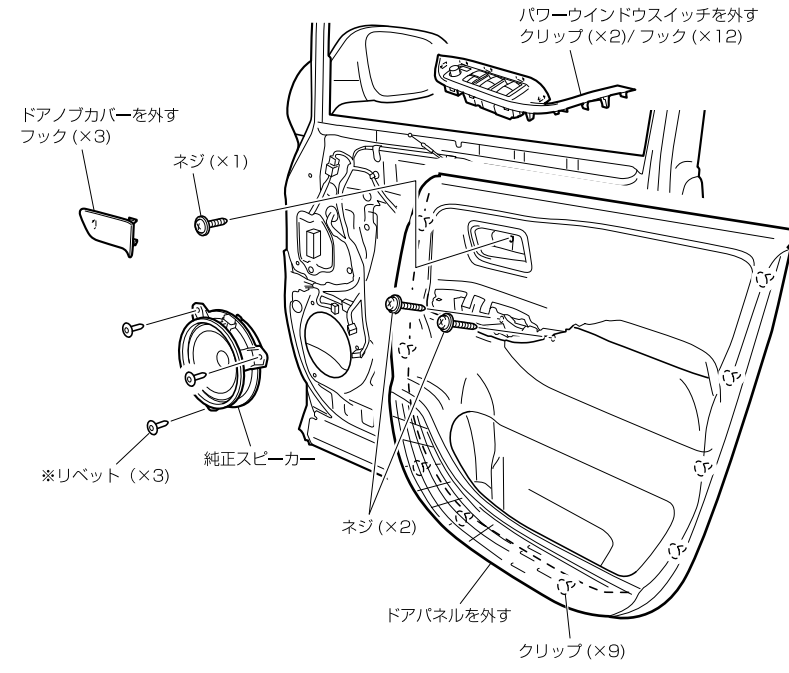
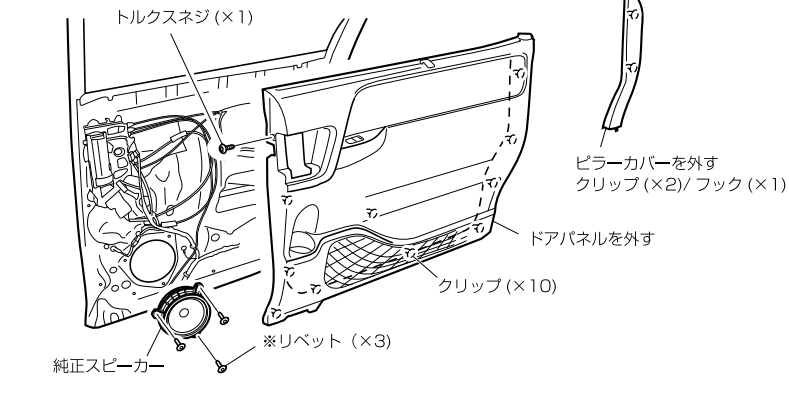


- ※リベットが回らないようにベンチなどでリベットを押さえてください。
- ※作業は二人で行ってください。
- ※取り付けるスピーカーのフレーム内部にクズやゴミが入らないようにご注意ください。

ここに掲載されていないクルマの取り付け情報に関してはアルパインホームページ「クルマ別製品取り付け情報」をご覧ください。

スマホアプリ

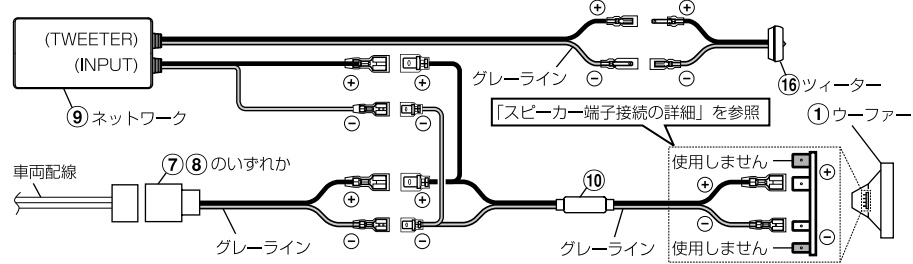
www.alpine.co.jp

<p>トヨタ</p> <p>ヴォクシー／ノア (H26/1～現在)</p> <p>ヴォクシー／ノアハイブリッド (H26/2～現在)</p> <p>エスクァイア／エスクァイアハイブリッド (H26/10～現在)</p> <p><フロントドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p> <p><リアドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p>	<p>トヨタ</p> <p>ヴォクシー／ノア (H26/1～現在)</p> <p>ヴォクシー／ノアハイブリッド (H26/2～現在)</p> <p>エスクァイア／エスクァイアハイブリッド (H26/10～現在)</p> <p><フロントドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p> <p><リアドア></p>  <p>※「トヨタ車純正スピーカー（リベット固定式）の取り外し方法」を参照してください。</p>
---	---

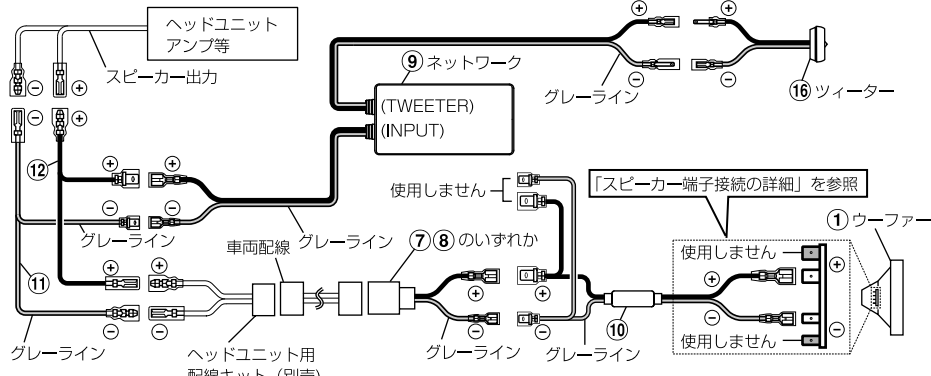
=> 裏面につづく

2 ネットワークとスピーカー線を接続する。

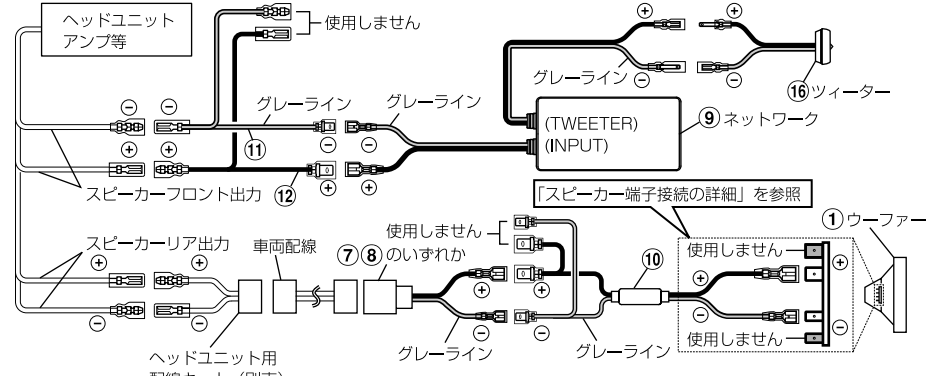
■ ツィーターをウーファー部から配線する場合 (例：ツィーターをドアに取り付ける場合)



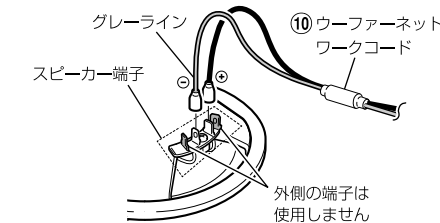
■ ツィーターをヘッドユニット、アンプから配線する場合 (例：ツィーターをダッシュボード上に取り付ける場合)



■ ツィーターとウーファーをヘッドユニットの4chアンプにマルチ接続する場合

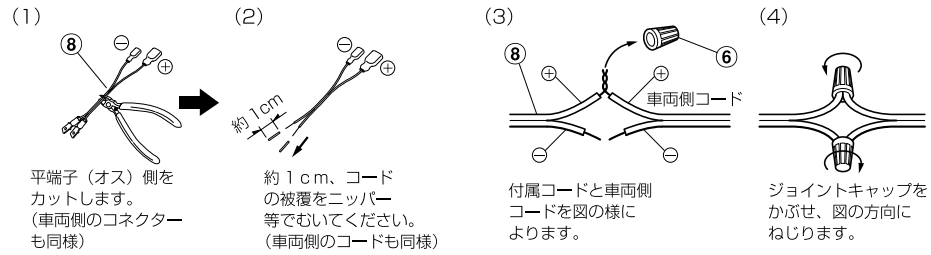


■ スピーカー端子接続の詳細



● ジョイントキャップ ⑥ の使用方法

付属の変換コードが合わない場合はジョイントキャップ ⑥ をご使用ください。車両側のコネクターの極性を切断前にお確かめください。

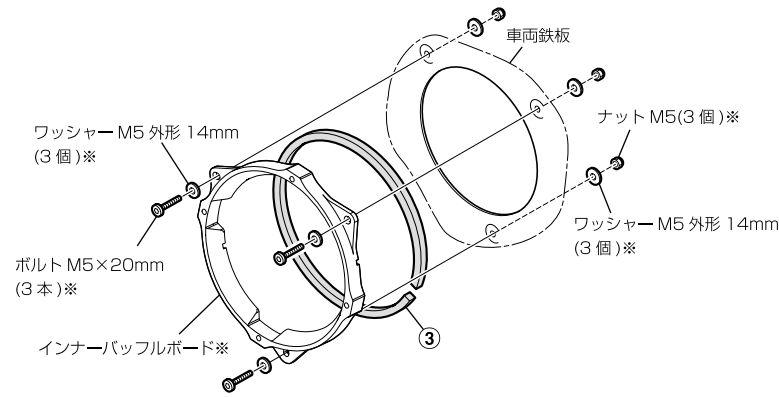


3 本スピーカーを取り付ける。

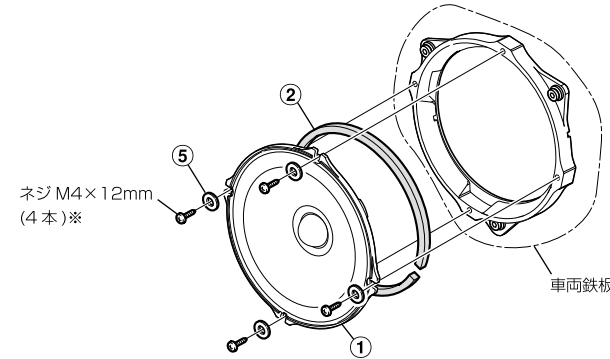
取り付ける車種により、インナーバッフルボード (別売) が必要です。インナーバッフルボードの適応車種についてはアルパインホームページを確認してください。

■ 以下はインナーバッフルボード KTX-Y180XB を使用した場合の取り付け例

- (1) インナーバッフルボード裏面にクッション ③ を貼り付けます。
- (2) インナーバッフルボード付属部品 (※印) を使用し取り付けます。



- (3) スピーカー裏面にクッション ② を貼り付けます
- (4) インナーバッフルボード付属部品 (※印) とワッシャー ⑤ を使用し、本スピーカーを取り付けます。

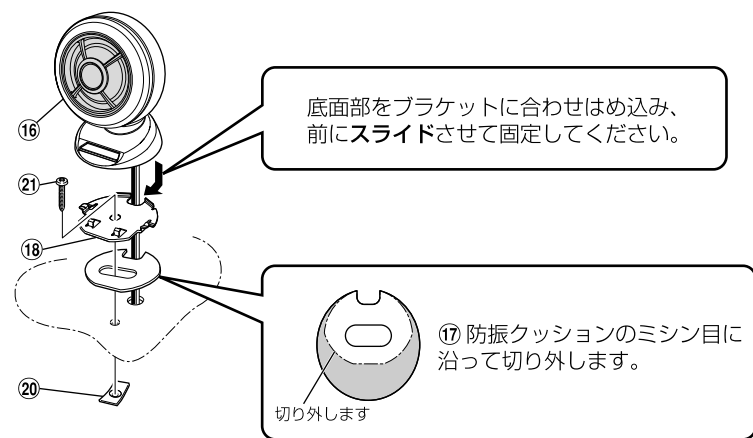


注意

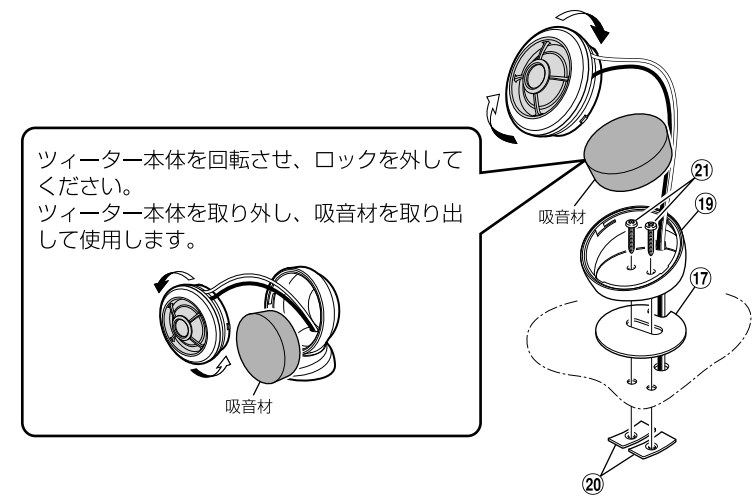
- スピーカー端子が鉄板開口部にあたらぬ様に取り付けてください。
- 取り付けにはドアパネル裏側リブの一部切除が必要な場合があります。切除箇所には保護用クッション ⑭ を貼ってください。

2 ツィーター取り付け

■ 取り付け方法



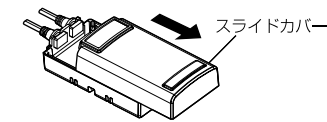
■ スラントスペーサーを使用する場合



※ロックが固い場合があります。ツィーター本体脱着の際は、ネット等の破損にご注意ください。

3 ネットワーク設定

付属のネットワークは上のカバーを矢印の方向へスライドさせて、中のジャンパー設定を変更することにより、以下の様な設定が可能となっております。



位相切りかえ機能 (TW PHASE)

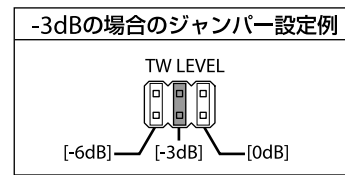
リスニングポジションからのウーファーの距離 (Xw) とツィーターの距離 (Xt) の差で生じる音のつながりの変化をチューニングし最適な音のつながりでお聴きいただけます。

Xw-Xt(cm)	推奨設定	ジャンパー設定位置
-35 ~ -20	NORMAL	TW PHASE
-20 ~ -5	REVERSE	TW PHASE
-5 ~ 10	NORMAL	TW PHASE
10 ~ 25	REVERSE	TW PHASE
25 ~ 40	NORMAL	TW PHASE
40 ~ 55	REVERSE	TW PHASE

※ 基本的には助手席側も運転席側と同じ設定にしてください。
※ 上記はメーカー推奨値です。実際のお車に合わせお好みで設定してください。

ツィーターレベル設定機能 (TW LEVEL)

ツィーターレベルは [0dB] (工場出荷時) / [-3dB] / [-6dB] の3段階で設定ができます。お好みに合わせて設定してください。

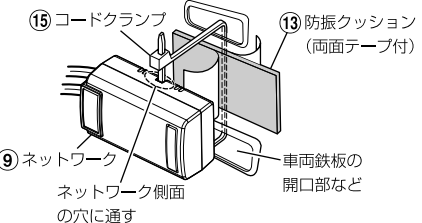


4 ネットワーク取り付けおよびウーファーネットワークコードのコイル固定方法例

ネットワークを取り付ける前に、各スピーカー配線後、ネットワークの設定を行ってください。詳しくは、「3 ネットワーク設定」を参照してください。

■ ネットワークの取り付け方法例

防振クッション ⑬ の剥離紙両面を剥がしネットワーク ⑨ に貼り付け、車両鉄板にコードクランプ ⑮ でしっかり固定する。

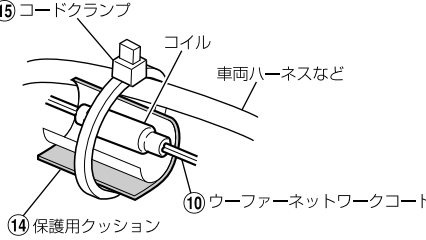


- ネットワークの取り付け時の注意
ネットワークのケースは油分によって変形や変色する可能性があるため、ネットワークの取り付けは油分が無い場所に取り付けを行ってください。

※コードクランプ ⑮ は、必要に応じてコード類を束ねる際にも使用してください。

■ ウーファーネットワークコードのコイル固定方法例

保護用クッション ⑭ の剥離紙を剥がしウーファーネットワークコード ⑩ に巻きつけ、車両ハーネスなどにコードクランプ ⑮ でしっかり固定する。



3. 確認する

1 不自然な当たりがないことを確認する。

特にスピーカーの端子が当たっていないかを確認してください。

2 コード類を固定する。

突起部に当たったり、窓ガラスやドアの開閉時に、コードを傷めないように注意してください。

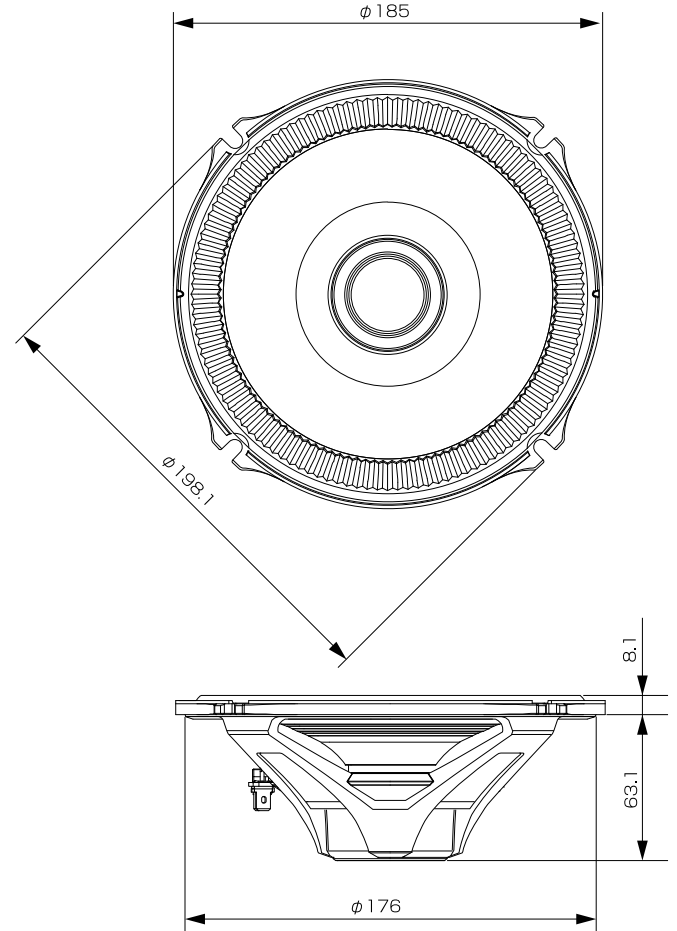
3 イグニッションキー／カーオーディオ電源を ON にして、本機から音が出ることを確認する。

4 ホーン (クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

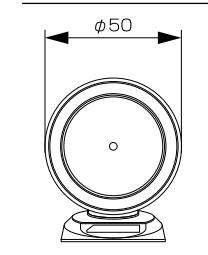
製品仕様

スピーカー本体

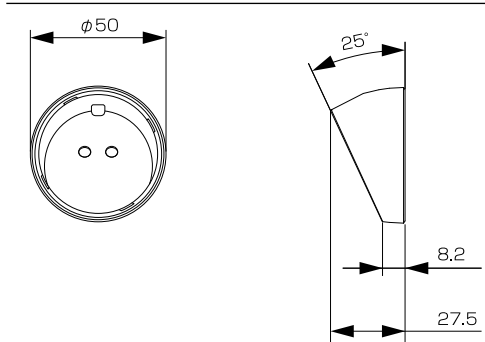
mm



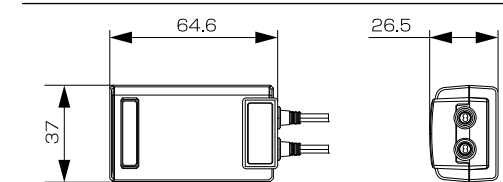
ツィーター



スラントスペーサー



ネットワーク



規格

瞬間最大入力	180W	
定格入力	45W	
再生周波数帯域	22Hz ~ 66kHz (-10dB)	
出力音圧レベル	86dB/W · m	
インピーダンス	4 Ω	
重量	ウーファー本体	0.63kg × 2
	ツィーター本体	0.10kg × 2
	ネットワーク (ウーファー用)	0.06kg × 2
	ネットワーク (ツィーター用)	0.08kg × 2